

がん教育講演会①

平成27年度実施校(13校)

中学校 6校		高等学校 7校	
1	<input type="checkbox"/> 水戸市立飯富中学校 (10/22)	1	<input type="checkbox"/> 笠間高等学校 (9/9)
2	<input type="checkbox"/> △結城市立結城東中学校 (11/6)	2	<input type="checkbox"/> 多賀高等学校 (10/5)
3	<input type="checkbox"/> 潮来市立牛堀中学校 (11/11)	3	△ 中央高等学校 (11/4)
4	<input type="checkbox"/> △高萩市立高萩中学校 (11/28)	4	<input type="checkbox"/> 下妻第二高等学校 (11/4)
5	△ 石岡市立八郷中学校 (11/30)	5	<input type="checkbox"/> 水戸第一高等学校 (11/10)
6	<input type="checkbox"/> 日立市立多賀中学校 (12/22)	6	<input type="checkbox"/> 太田第一高等学校 (11/27)
		7	△ 藤代紫水高等学校 (12/2)

(医師のみ8校, △経験者のみ2校, △両方2校)

平成26年度実施校(14校)

中学校 7校		高等学校 7校	
1	△東海村立東海南中学校 (12/17)	1	<input type="checkbox"/> 日立第二高等学校 (11/5)
2	<input type="checkbox"/> 日立市立泉丘中学校 (12/10)	2	<input type="checkbox"/> 緑岡高等学校 (10/9)
3	△潮来市立潮来第二中学校 (12/5)	3	<input type="checkbox"/> 土浦第二高等学校 (11/21)
4	<input type="checkbox"/> 石岡市立八郷中学校 (12/22)	4	△藤代紫水高等学校 (11/26)
5	<input type="checkbox"/> 牛久市立牛久第三中学校 (12/18)	5	<input type="checkbox"/> 水海道第一高等学校 (10/28)
6	△取手市立藤代中学校 (12/5)	6	△下館第一高等学校 (12/19)
7	<input type="checkbox"/> つくば市立春日中学校 (10/30)	7	△三和高等学校 (12/17)

(医師のみ7校, △経験者のみ6校, △両方0校)

がん教育講演会②

平成28年度実施予定校(15校)

中学校 10校		高等学校 5校	
1	△ 常陸大宮市立明峰中学校	1	<input type="checkbox"/> 県立水戸南高等学校
2	<input type="checkbox"/> 小美玉市立美野里中学校	2	△ 県立鹿島高等学校
3	△ 大子町立大子西中学校	3	△ 県立波崎高等学校
4	<input type="checkbox"/> 常陸太田市立瑞竜中学校	4	<input type="checkbox"/> 県立竜ヶ崎第二高等学校
5	<input type="checkbox"/> 鹿嶋市立平井中学校	5	<input type="checkbox"/> 県立結城第一高等学校
6	<input type="checkbox"/> 土浦市立新治中学校		
7	<input type="checkbox"/> △稲敷市立江戸崎中学校		
8	△ 阿見立竹来中学校		
9	<input type="checkbox"/> △ 美浦村立美浦中学校		
10	<input type="checkbox"/> 古河市立総和中学校		

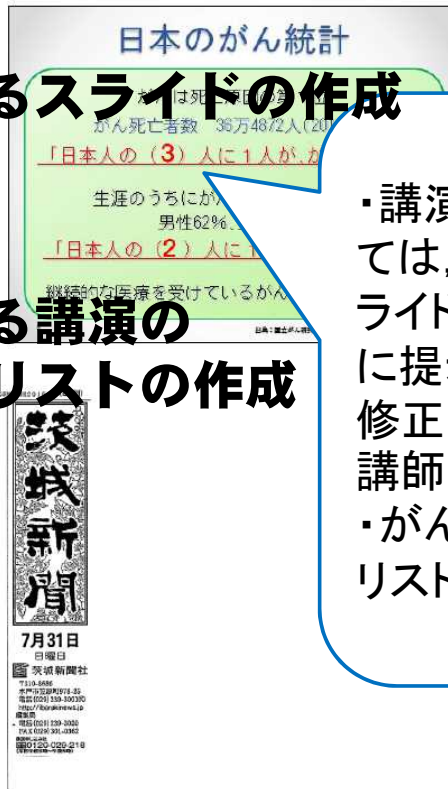


(医師のみ8校, △経験者のみ5校, △両方2校)

がん教育講演会円滑化のために

○ 講演の基本となるスライドの作成 がんについて学ぼう

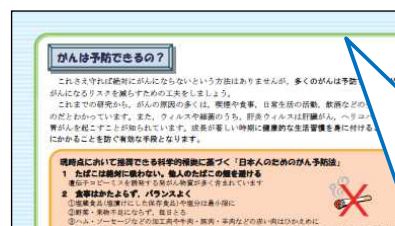
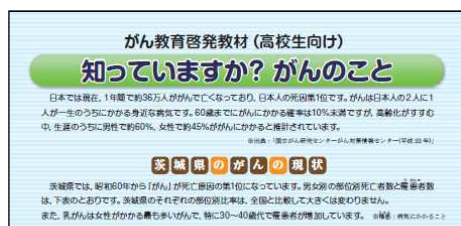
○ がん経験者による講演の 講師リストの作成



・講演の内容については、基本となるスライドを作成し、講師に提示した。利用、修正等については、講師の裁量とした。
・がん経験者の講師リストを作成した。

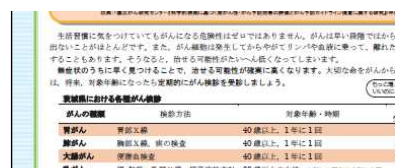
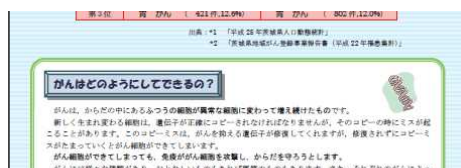
がん教育啓発教材の作成・配布①

平成26年度 高等学校用の作成



・県のがんの現状
・がんのメカニズム
・がんの予防
・がんの治療
・緩和ケア
・がんり患後の生活
・身近な人が
がんになったら
ほか

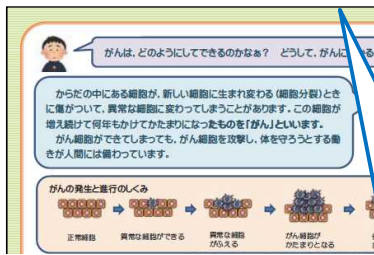
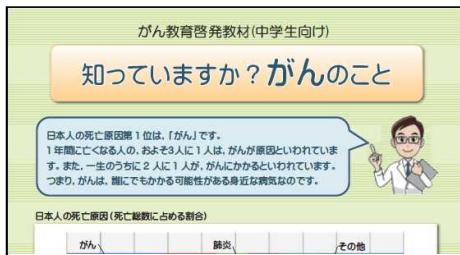
公立高等学校の1年生に配布



QA形式により、がんに関する正しい知識について分かりやすく解説した。

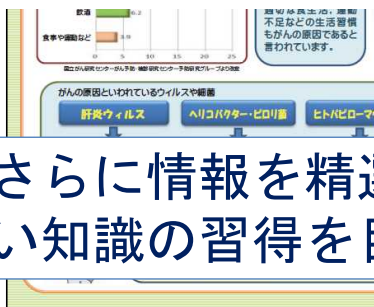
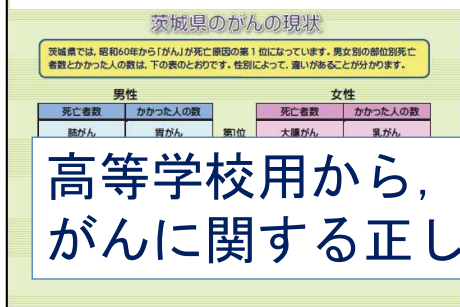
がん教育啓発教材の作成・配布②

平成27年度 中学校用の作成



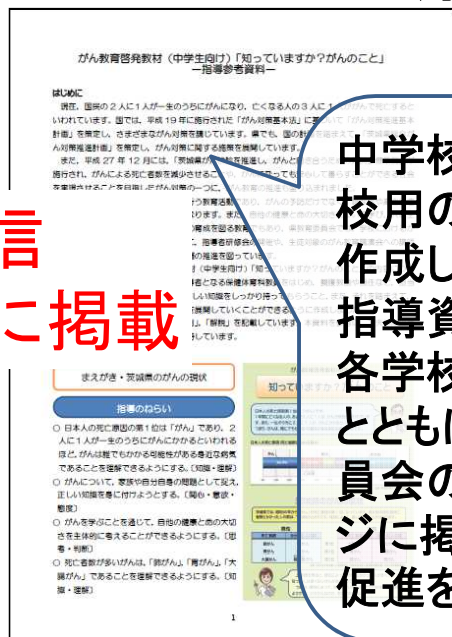
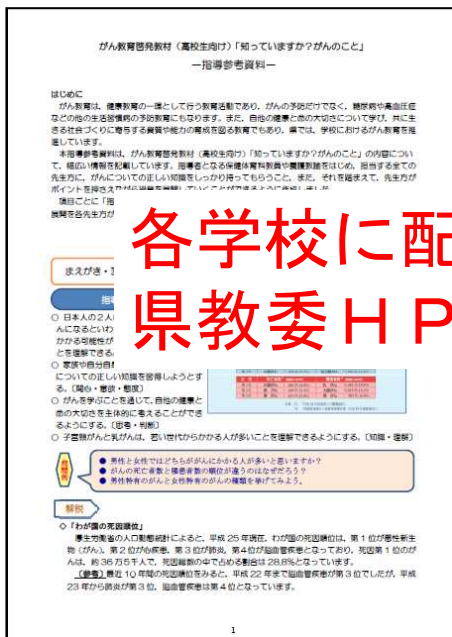
- ・県のがんの現状
- ・がんの原因とメカニズム
- ・がんの予防法
- ・がんの治療
- ・がん患者さんへの支援 ほか

公立中学校の3年生に配布



高等学校用から、さらに情報を精選し、がんに関する正しい知識の習得を目指した。

がん教育啓発教材指導参考資料 (教師用)



中学校及び高等学校用の啓発教材を作成した教師用の指導資料を作成し、各学校に配信するとともに、県教育委員会のホームページに掲載し、活用の促進を図った。

高等学校用(H26作成)

中学校用(H27作成)

がん教育講演会の結果

[知識編]	
○「がんは誰もがかかる可能性のある病気である(正)」	95%→98%(+3)
○「がんは日本人の死因の第2位である(誤)」	49%→86%(+37)
○「たばこを吸わないこと, バランスよく食事をする, 適度な運動をすることなどによって予防できるがんもある(正)」	95%→97%(+2)
○「早期発見すれば, がんは治りやすい(正)」	93%→96%(+3)
○「体の調子がよい場合は, 定期的に検診を受けなくてもよい(誤)」	92%→94%(+2)
[意識編]	
○「日頃から, バランスのよい食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う(そう思う)」	56%→72%(+16)
○「がん検診を受けられる年齢になったら, 検診を受けようと思う(そう思う)」	58%→75%(+17)
○「がんになっても生活の質を高めることができる(そう思う)」	21%→36%(+15)
○「がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい(そう思う)」	63%→77%(+14)

がん教育講演会を実施して効果が上がったものと考えられる事項

- がんを身近な病気であるという認識をもった。
- 将来, がん検診を受診しようとする意識が芽生えた。
- 命の大切さの理解を深めた。
- 家族や身近な人とがんについて話し合おうという気持ちを持った。
- がんという病気はどんな病気か知った。
- がんの予防には良い生活習慣が大切であることが分かった。
- がん検診の大切さが分かった。
- がんにかかってもがんと正しく向き合える姿勢を養えた。

成果と課題

<成果>

- がん教育推進体制の確立
 - ・医療機関, がん患者団体との連携
 - ・保健福祉部との連携
- がん教育啓発教材の充実
 - ・高等学校用啓発教材, 指導用資料を全公立学校に配布
- 研修会開催による教職員への研修機会の提供
 - ・平成26年度より, 毎年, 本県のすべての公立学校教員を対象とした研修を実施
 - ・市町村単位でも研修が行われている。
 - ・新任養護教諭研修に「がん教育」を導入, 実践発表の盛り込み

成果と課題

<課題>

- がん教育講演会実施に伴う講師の確保
 - ・講師となっていた方々には, 学校教育の実情を知っていただくなどの研修が必要
- 教員のがん教育の必要性の理解不足
 - ・指導者側のがんに関する知識の習得, 普及啓発が必要(特に, 保健体育教員)
- 教材, 指導資料の適切な活用

【メモ】

【実践発表】

実践発表① 茨城県

高等学校におけるがん教育の実践

説明者：茨城県立水戸第二高等学校

教諭 小松崎 智弘

高等学校における がん教育の実践

茨城県立水戸第二高等学校
教諭 小松崎 智弘

1

1 はじめに(自己紹介を兼ねて)

➤がん教育が大事だと思った理由

➤生徒の状況

- 対象：県立水戸第二高等学校2年生40名



2

1 はじめに(保健学習の現状)

- ▶保健学習において「疾病」について学ぶのは現在、「生活習慣病」と「感染症」である。
- ▶生活習慣病については、疾病の種類や特徴を学ぶが、ひとつの疾病を取り上げて学習をしているわけではない。

3

2 目的(ねらい)の設定

- ▶がんが身近な病気であることを理解する。
- ▶早期発見，早期治療によって死亡する可能性が大きく低下することを知る。
- ▶がんの治療法及びがん診療を行っている医療機関について知る。
- ▶がんを学ぶことを通じて，自他の健康と命の大切さを主体的に考えることができるようにする。

4

3 授業で生徒に伝えたいこと

★この時間については・・・

① がんは予防できる病気であること

小児がんは別

② がん検診の重要性

③ がん患者（またはその家族）に対する配慮について

5

※がん発生のメカニズム（授業用スライド）

Q. 私たちの体を構成している細胞はくつくらいあるでしょう？

A. 約30～60兆個といわれています。

・それらの細胞では全体の調和を保ちながら成長したり生命を維持したりするための必要な情報が遺伝子に含まれています。細胞分裂の過程で遺伝子をコピーしますが、私たちの体内にはコピーミスを見守る仕組みがあり、遺伝子を修復したり、異常な細胞が増えることを抑えたり、取り除いたりすることで正常な状態を保ちます。

6